

監査報告書

平成27年5月19日

社会福祉法人 一真会

理事長 佐々木 幸雄 様

社会福祉法人一真会

監事

田中邦廣

監事

石橋研一

社会福祉法人一真会定款第11条の規定により、平成26年度に係る、一真会の業務執行状況及び会計の状況について監査しましたので、その結果について以下のとおり報告します。

1 監査の実施日

平成27年5月18日

2 監査の重点事項及び方法

業務開始後4年を経過し、円滑な業務執行体制がとられているか並びに適正に経理が執行されているかということを中心に監査にあたった。監査の方法は、全般的な運営状況の説明を求め、その後資料等の確認及び個別事項の聞き取りにより実施した。

1) 主な業務監査事項

・事業評価 ・利用者とその家族の声の把握 ・業務日誌及び関係書類の整備 ・職員教育と研修体制 ・職員の健康管理 ・広報の状況 ・委員会等各種会議の状況 ・防災及び危機管理体制

2) 主な会計監査事項

・経理責任者の確認 ・財務諸表の確認 ・各会計区分の明確化 ・流動資産の状況
・借入金の状況 ・施設の営繕 ・ショートステイ施設の進捗状況

3 監査の結果

今回監査した内容において、業務執行に関する不正及び定款に違反する事実は認められない。事業は年間の計画に従い順調に進捗しているとともに常に計画・実践・評価がなされ、改善が図られている。また、利用者と接する職員が日々その声に真摯に耳を傾け、利用者及びその家族の立場に立って、ぬくもりのある「花むつみ」らしい運営がなされていると認められる。

なお、個別事項については別記のとおりである。

記

- 1) 証書類を含め、各関係書類は簿冊方式で整理されているが、個別の見出しによって見やすく整理されている。
- 2) 日常の業務の遂行にあたり、業務日誌の記録や関係書類の整備がしっかりなされ、それぞれの担当職員が情報を共有しながら諸課題の解決に迅速に対応している。
- 3) 職員の教育に重点が置かれ、心のこもったあいさつの励行、毎日の朝の会における「今日の一言目標」の実践、利用者との対話の重視などを通して職員の資質の向上が図られている。
- 4) 新人職員研修体系にウエルカム研修を組み込み、管理職のみならず職員全体で新人を育てる「プリセプター制度」の充実に力を入れている。
- 5) 職員の業務内容と施設内の委員会活動をクロスさせ、アンケート調査や外部評価の結果を踏まえて改善を図るなど職員間の横のつながりを重視した運営がなされている。
- 6) 新たに中小企業退職金共済制度に加入したことは、法人の負担を増やすことにはなるが、職員に大きな励みをもたらすものであり、業務執行に対する意欲向上が期待される。
- 7) 「花むつみ」の運営の充実並びに施設の内容を知ってもらうため、PR用各種資料の配布、FM放送及びホームページの活用、デイサービス資料の配布など複数の方法を工夫しながら、情報を発信し、周知に努めている。
- 8) 新調理システムの導入を図り、短い時間で安定した味の給食を供給できるよう努めている。
- 9) 避難訓練や運営推進会議などを通して、緊急時の体制及び災害時の利用者の安全確保など、危機管理体制がしっかりしている。
- 10) 新規ショートステイ施設の開所に向けては、経費を抑えながらも、より大きな効果が得られるよう、新たにプロポーザル方式により、よりよい施設の設計、施工に向けて準備が進められている。